

婚姻届

令和 年 月 日届出
(あて先) 長 殿

受理 第 号	年 月 日	発送 第 号	年 月 日
送付 第 号	年 月 日	長 印	
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票
決	裁	附	票
住	民	票	通
知			

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。(消えるボールペンは使用しないでください。)
 この届は、あらかじめ用意して、結婚式をあげる日または同居を始める日に出すようにしてください。その日が日曜日や祝日も届けることができます。(この場合、宿直等で取扱うので、前日までに戸籍担当係で下調べをしておいてください。)
 届書は、1通でさしつかえありません。
 この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書が必要ですから、あらかじめ用意してください。

本届書中
字訂正 字削除 字加入
訂正印
夫
妻

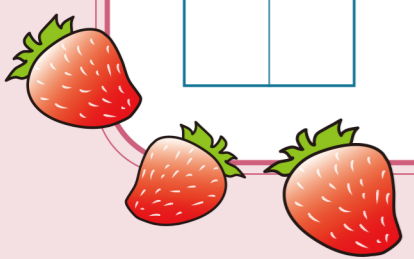
(1) 氏名	夫になる人		妻になる人	
	氏名	氏名	氏名	氏名
(2) 住所	昭和・平成 年 月 日		昭和・平成 年 月 日	
	番地 番 号		番地 番 号	
(3) 本籍	番地 番 号		番地 番 号	
	筆頭者の氏名		筆頭者の氏名	
(4) 父母の氏名 父母との続柄 (他の養父母は その他の欄に 書いてください)	父	続柄	父	続柄
	母	男	母	女
(5) 婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍	<input type="checkbox"/> 夫の氏	新本籍 (左の☐の氏の人ですでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください)		
	<input type="checkbox"/> 妻の氏	番地 番		
(6) 同居を始めた とき	年 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください)			
(7) 初婚・再婚の別	<input type="checkbox"/> 初婚	再婚 (<input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別 年 月 日)	<input type="checkbox"/> 初婚	再婚 (<input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別 年 月 日)
	同居を始める 前の夫妻のそれ ぞれの世帯の おもな仕事と			
(8) 夫妻の職業	夫の職業		妻の職業	
	(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください)			
その他				
届出人	夫	妻		
署名押印	印	印		
事件簿番号	住定年月日	夫	年月日	妻
			年月日	

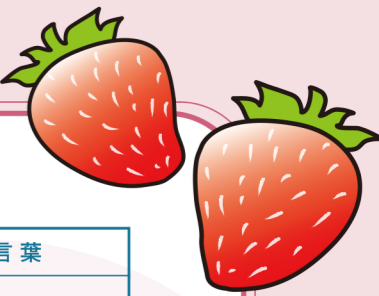
証 人	
署名 印	印
生年月日	昭和・平成 年 月 日
住所	番地 番 号
本籍	番地 番

- 「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
- 父母がいま婚姻しているときは、母の氏は書かないで、名だけを書いてください。養父母についても同じように書いてください。
- ☐には、あてはまるものに☐のようにするしをつけてください。外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつけられますので、希望する本籍を書いてください。
- 再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。内縁のものはふくまれません。
- 届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

- ◎ 署名は必ず本人が自署してください
- ◎ 印は各自別々の印を押してください
- ◎ 届出人の印をご持参ください

連絡先(夫・妻・その他)
電話() 番
自宅・勤務先[]・携帯





ふたりの記念用

婚姻届

午前 午後 時 分 年 月 日届出 長

(よみかた) 氏名 生年月日	夫になる人		妻になる人	
	氏	名	氏	名
	昭和・平成 年 月 日		昭和・平成 年 月 日	
住所 住所登録を しているところ	番地 番 号		番地 番 号	
	世帯主 の氏名		世帯主 の氏名	
	父	続き柄 男	父	続き柄 女
母	母			
婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍	<input type="checkbox"/> 夫の氏 <input type="checkbox"/> 妻の氏	新本籍		
同居を始めたとき	年 月		(結婚式を挙げたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)	

夫になる人から妻になる人への言葉

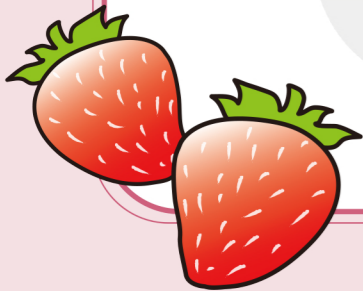
妻になる人から夫になる人への言葉

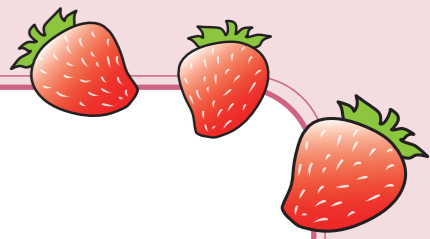
写真貼付欄

証人				
署名 生年月日	昭和・平成 年 月 日		昭和・平成 年 月 日	

記入の注意

この届けは、ふたりが夫婦になる瞬間を一生の思い出として残すものです。鉛筆や消えやすいインキでは書かないでください。記入後、役場には提出せず、大事に保管してください。





婚姻届

平成 27 年 11 月 22 日 届出
(あて先) 海老名市長 殿

受理 平成 年 月 日	発送 平成 年 月 日						
第 号							
送付 平成 年 月 日	長印						
第 号							
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	決 裁	附 票	住民票	通 知

本届書中
字訂正 字削除 字加入
訂正印
夫
妻

平成 年 月 日
午前 午後
時 分 受領
夫
<input type="checkbox"/> 免 <input type="checkbox"/> 旅 <input type="checkbox"/> 住
<input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無
()
不受理 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
通知 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
妻
<input type="checkbox"/> 免 <input type="checkbox"/> 旅 <input type="checkbox"/> 住
<input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無
()
不受理 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
通知 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要
使
<input type="checkbox"/> 免 <input type="checkbox"/> 旅 <input type="checkbox"/> 住
<input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 無
()
送付 平成 年 月 日
確認 通知

(1)	夫になる人	妻になる人
	えびな 一太郎 氏名	さんらい 風子 氏名
(2)	生年月日	生年月日
	昭和・平成 60 年 5 月 10 日	昭和・平成 62 年 12 月 24 日
(3)	住所	住所
	神奈川県海老名市 中央1丁目17番地1号 世帯主の氏名 海老名 一太郎	神奈川県平塚市 馬入本町13番地11号 世帯主の氏名 三来 風子
(4)	本籍	本籍
	神奈川県厚木市 中央683番地1 筆頭者の氏名 海老名 一郎	神奈川県平塚市 馬入本町13番地11 筆頭者の氏名 三来 風五郎
(5)	父母の氏名 父母との続柄	父母の氏名 父母との続柄
	父 海老名 一郎 続柄 長男 母 花子 続柄 二女	父 三来 風五郎 続柄 二女 母 明子 続柄 二女
(6)	婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍
	<input checked="" type="checkbox"/> 夫の氏 新本籍 (左の○の氏の人すでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください) 神奈川県海老名市中央1丁目17番地1	<input type="checkbox"/> 妻の氏
(7)	同居を始めたとき	同居を始めたとき
	昭和・平成 24 年 8 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)	
(8)	初婚・再婚の別	初婚・再婚の別
	<input checked="" type="checkbox"/> 初婚 再婚 <input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別 年 月 日	<input checked="" type="checkbox"/> 初婚 再婚 <input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別 年 月 日
(9)	同居を始める前の夫妻のそれぞれの世帯のおもな仕事と	同居を始める前の夫妻のそれぞれの世帯のおもな仕事と
	夫 <input type="checkbox"/> 妻 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)	夫 <input checked="" type="checkbox"/> 妻 <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 6. 仕事をしている者のいない世帯 (国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください)
(10)	夫妻の職業	夫妻の職業
	夫の職業	妻の職業
(11)	届出人	届出人
	夫 海老名 一太郎 (印)	妻 三来 風子 (印)
事件簿番号		住定年月日 夫 昭和・平成 年 月 日 妻 昭和・平成 年 月 日

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。(消えるボールペンは使用しないでください。)
この届は、あらかじめ用意して、結婚式をあげる日または同居を始める日に出すようにしてください。その日が日曜日や祝日も届けることができます。(この場合、宿直等で取扱うので、前日までに戸籍担当係で下調べをしておいてください。)
届書は、1通でさしつかえありません。
この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書が必要ですから、あらかじめ用意してください。

証人	署名	署名
署押	平塚 栄二 (印)	八王子 静子 (印)
生年月日	昭和・平成 52 年 8 月 6 日	昭和・平成 57 年 4 月 18 日
住所	神奈川県平塚市 浅間町9番地1号	東京都八王子市 大和田町6丁目1番地1号
本籍	神奈川県平塚市 浅間町168番	東京都八王子市 大和田町6丁目1番

- 「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
- 父母がいま婚姻しているときは、母の氏は書かないで、名だけを書いてください。養父母についても同じように書いてください。
- には、あてはまるものに○のようにするしをつけてください。外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくられますので、希望する本籍を書いてください。
- 再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。内縁のものはふくまれません。

サイズは
A3で
プリント

- ◎ 署名は必ず本人が自署してください
- ◎ 印は各自別々の印を押してください
- ◎ 届出人の印をご持参ください

連絡先(夫・妻・その他)
電話() 番
自宅・勤務先[]・携帯

※未成年者の場合は、父母(養父母)の署名が必要です
【記入例】
この婚姻に同意します。
妻の父 三来 風五郎 (印)
妻の母 三来 明子 (印)

